

ボランティア事務局

黒石商業高校はこれまで「保護者・地域に愛される学校」をめざし、積極的な情報発信や、地域貢献に力をいれてきました。特に平成28年度からは全校体制でのボランティア活動によって、地域の行事等に積極的にかかわってきました。これは黒商全体が一つのボランティアサークルとして活動する、ということです。昨年度は、14の事業にのべ160人の生徒がボランティアとして参加し、その活動が認められて、平成30年度黒石市高校生ボランティア活動賞の表彰を受けました。今年度は、「一人一つ以上のボランティア」を目指し、地域にアピールしていきます。

ボランティア事務局は、自らがボランティア活動に率先して参加するだけでなく、全校生徒のための「ボランティア窓口」となり、一人でも多くの生徒がボランティア活動に取り組めるように、社会福祉協議会などの外部団体と連携し、さまざまなボランティアの情報を全校生徒に伝え、多くの生徒を巻き込んでいくことで、黒商を活性化させたいと考えています。

◆ 平成30年度のおもな活動実績（参加数はのべ人数）

- ・ 4月7日～11月24日 山郷館サポートセンターくろいし「はっぴいえコプラザ」運営補助：26名
- ・ 7月14日～8月18日 黒石ねふた祭り・ふるさと元気まつり運営補助：46名
- ・ 7月21日 アリス保育園夕涼み会運営補助：15名
- ・ 7月21日 介護老人保健施設あしたばの里納涼祭運営補助：10名
- ・ 7月22日 社会福祉法人報徳会 第24回地域交流納涼祭運営補助：9名
- ・ 8月18～20日 虹の湖ロックフェスティバル2018運営補助：10名
- ・ 8月25日 介護老人保健施設のぞみ 納涼祭運営補助：3名
- ・ 8月26日 RAB24時間テレビ募金活動：3名
- ・ 9月1日 障害者支援施設山郷館くろいし 秋まつり運営補助：3名
- ・ 9月23日 アリス保育園運動会運営補助：10名

◆ ボランティアとは

「ボランティア」を「人のため、社会のために奉仕すること」と考えているならば、ここで発想を転換してみましょう。

たしかにボランティアは「人のため、社会のために、報酬をもらうことなく何かをすること」という考え方が一般的です。しかし「人のため、社会のため」という義務感だけで取り組めば、そのことが重荷となり、決して長続きしません。また、「人のために」が、ともすれば「相手にしてあげている」つまり、相手よりもこちらが優れているのだ、という気持ちにすりかわってしまうことも考えられます。それは非常に失礼ですし、相手はそういう気持ちを敏感に感じてしまいます。「してあげる」でも「させていただく」でもない、自分のした行為が結果として人や社会の役に立ち、自分自身もその活動を通じて大きな「何か」を得る。つまりボランティアは**自己実現**のため、極論すれば「**自分のため**」にすることなのです。そしてその基本には、「これが好きだから」、「やっていて楽しいから」という自分自身の思いがあり、それがあるからこそ、周りからみて「大変だな。」と思うことも、やっている当人からすると全く苦にならないのです。

私たちは、このように考えて、取り組んでいきます。